

白川郷荻町集落の自然環境を守る会 令和6年11月号

ねそ

守る会ホームページ <http://shirakawa-go.com/~ogimachi/>



われらが紡ぐ白川郷

かややねプロジェクト～秋の一斉茅刈り～ 雨にも負けず、盛りだくさんの2日間！

11月2日（土）にススキと荻の刈り取りを、3日（日）に荻を活用してオダレづくりを実施する予定でしたが、1日目は生憎の雨。代わりに雨プログラムとして、職人さんのお仕事体験、茅ほうきづくり体験を企画し、村外からお越しくださった約25名の方（スタッフ含む）に、興味のある方へ参加していただきました。2日目は打って変わって気持ちの良い秋晴れに。合掌造りをバックにオダレづくりを行い、記念撮影。イベント終了後は、会場として利用した旧松井家を管理する白川ボックス（代表：大田忠広氏）協力のもと、希望者のみなさんと共に雪囲いを行いました。雨でも大満足！という声と、雨だったから来年リベンジしたい！という声と、守る会にとって、とてもありがたい感想をいただいた今回のイベントの様子を、以下に紹介いたします。

職人さんのお仕事体験

2020年12月、日本の「伝統建築工匠の技」が世界無形文化遺産登録され、「茅葺」と共に世界遺産となった「茅採取」。茅を刈った後、屋根の材料として使われるまでには、中に混ざった雑草を取り除き、良い茅をより、茅を縛り直す必要があります。職人さんから茅採取のお話を聞き、実際にその作業を体験した他、ハコマキやツノ結びにも挑戦。合掌造りを守ることの大変さや、屋根の構造を知ることができてよかったと、好評でした。職人さんの仕事に興味のある方がとても多く、嬉しい驚きでした。



茅ほうきづくり体験

旧松井家では、世界にひとつだけの茅ほうきづくりに挑戦。職人さんが作った美しい見本を横目に、茅の穂先の部分を少しずつ束ねて自分好みの形、大きさに仕上げしていきます。楽しくて2つ作ったという強者も！白川郷を身近に感じられるお土産になったようで、家に帰ってから使用するのが楽しみという声が聞こえてきました。



荻でオダレづくり体験

前日の感想を共有しながら、グループごとにオダレを製作し、6枚のオダレが誕生。近くを通る観光客も興味津々で、見られるからこそ気合が入ったという方も。オダレのことや守る会のことを、観光客に知っていただく良い機会にもなりました。今回つくったオダレは、合掌造り民家園へ。民家園で雪囲いの様子を見たい、文化に触れられて良かった、来年もやりたい、合掌造りを繋ぐ力になれて嬉しいという感想もいただきました。



その他にも盛りだくさん

イベント前日には、かややね会議にも参加してくださっているスタッフが到着。旧松井家の清掃や、参加者特典の茅刈り認定バッジ作成等を実施。茅刈りの流れを写真付きのパネルにしてくださったりと、イベントを盛り上げてくださいました。雪囲いにも多くの方が参加してくださり、春に雪囲い外しをやってみたいと、ありがたいお言葉も。こうして村の環境保全を一緒に行えたことに、改めて感謝申し上げます。守る会有志で茅も刈り取り、来年こそ、みんなで茅を刈れますように。



守る会活動スローガン ～守る・暮らす・つなぐ～

- ①守る：住民憲章を基盤とした、世界遺産である合掌家屋と農山村の景観保全
- ②暮らす：結の精神が根ざした共同体と、景観に調和した豊かな住民生活の向上
- ③つなぐ：故郷から学び、他地域の交流から学び、未来の継承者を育成

ゴミ問題等に関する発展会からのお願い ～「きれいな白川郷」を守るために～

- ①観光事業者は、ポイ捨てに繋がるゴミが生じないように努力しましょう。
- ②店舗等周辺のゴミ拾いを積極的に行いましょう。
- ③観光客からゴミ処分の申し出があった際は、他店舗のゴミであっても“お互い様”の精神で快く引き取りましょう。
- ④タバコのポイ捨てによる火災がないよう見かけたら注意しましょう。

10月の活動報告 ※12月の定例会は10日(火)を予定 (公民館和室にて)

10日 拡大役員会	22日 白川郷学園茅刈り (有志)
10日 定例会	27日 火の元検査・一齐放水
11日 ねそ10月号発行 (総務部)	28日 拡大役員会・茅刈り打ち合わせ (役員)
20日 荻町防火デー	31日 コガヤ茅刈り・茅場整備 (教育委・有志)
20日 茅場草刈り、オダレづくり用荻刈り (有志)	随時 旧寺口家草刈り (福田)

11月の協議事項 (現状変更申請に関わって) 11月8日開催

- *****本屋廻り改良土敷き込み *****住宅前の土間コンクリート打設
*****屋根融雪ヒーター設置 *****仮設車庫 *****看板設置